

自動車整備業界の動向①

1 自動車整備市場の推移

市場全体の自動車整備売上高（億円）



整備技術の難易度向上等に伴い、堅調に推移

- 自動車の技術革新に伴い整備技術が高度化し、市場規模も堅調に推移
- 各作業内容（車検整備、定期点検整備、事故整備、その他整備）量の増加

2 保有車両数の推移

保有車両数（千台）



安定的に推移中

- 現時点においては、自動車保有台数は安定的に推移
- 当面保有台数が安定的に推移することから、整備需要に関しても一定の市場規模が確保される見込み

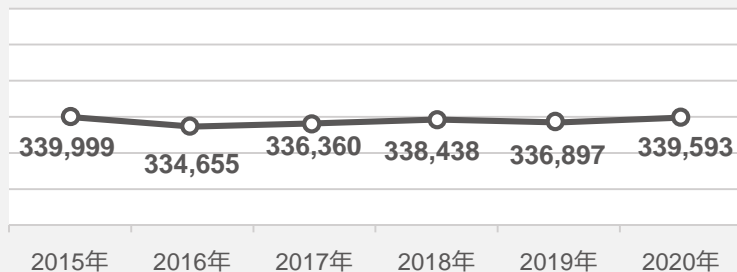
市場規模は増加傾向にあり、短・中期的に自動車整備市場が落ち込む見込みは薄い

出所：一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 『令和2年度 自動車特定整備業実態調査結果の概要について』を基に作成

自動車整備業界の動向②

3 自動車整備士数の推移

整備士数（人）



約33万人が安定的に従事中

- 過去5年で自動車整備士数は横ばいに推移
- ただし、有効求人倍率は増加傾向(*1)にあり、各地で実質的に整備士不足に直面中

4 自動車整備士の平均年齢の推移

平均年齢（歳）



年々高齢化傾向にあり

- 少子高齢化の進行を原因に、平均年齢は増加中
- 経営者の高齢化・後継者の不在・後継者の経営ノウハウ不足などを理由に事業承継問題が顕在化

将来的に直面する自動車整備士不足への対応が急務

出所：一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 『令和2年度 自動車特定整備業実態調査結果の概要について』を基に作成
 脚注 (*1)：平成23年度～平成29年度にかけて、自動車整備要員の有効求人倍率は約2.7倍上昇（出所：厚生労働省「職業安定業務統計」）